

授業科目	下顎機能異常治療学(咬合・有床義歯補綴学)		
区分・単位	講義・演習・実習 9単位	関連分野等	
年次・期別	1年次～2年次	曜日・時限	月曜日～金曜日
教室	保存科・補綴科診療室,咬合・口腔機能再建学分野 研究室	担当者電話番号	086-235-6685(皆木省吾)
担当教員	【研究科】教授:皆木省吾, 准教授:原 哲也, 助教:岡 森彦, 沖 和広, 兒玉直紀 【病院】講師:西川悟郎, 丸尾幸憲		
一般目標	下顎機能異常について理解し, 下顎機能異常患者に対する専門的知識ならびに治療手技を体得する.		
到達目標	下顎機能異常の診断ならびに治療方針を立てることができる. 下顎機能異常の診断に有効な検査機器を応用することができる. 下顎機能異常に対する治療を実践できる.		
講義概要	<p>1)セミナー(木曜日18:30から 随時):(皆木・原・西川・丸尾・沖・岡・兒玉)</p> <p>毎週開催される教室セミナーに参加し、文献紹介および研究発表を行う。文献紹介によって最新の知識を吸収するとともに、そこから導き出される新たな問題点等の検証をおこなう。研究発表では、各自研究テーマに沿って得られたその時点での結果を発表し、その時点での問題点の解決策、考えられる解釈などに関する議論を展開する。また、発表しない日に関しては、他人の発表を聞き、質問あるいは議論を展開する。これらの積み重ねにより、論理的思考と議論展開及びプレゼンテーションの基礎を学ぶ。</p> <p>2)学会参加(随時) :</p> <p>年1回は、いずれかの学会で発表する。内容的に発表できない場合は、参加し必ず他発表者に質問をする。学内のみならず、学外の研究者との交流によって議論を発展させ、より深い追求心が生まれる。</p>		
テキスト・参考書等	顎関節症入門 森本俊文他 医歯薬出版 Temporomandibular joint and masticatory muscle disorders G. A. Zarb et al. Munksgaard		
成績評価基準 成績評価方法	出席およびレポートなどにより評価する		
研究活動との関連	下顎機能異常に関する研究について研究を行っており, これらの研究結果についても詳細な講義を行っていく.		

基礎実習	スプリント作製・調整実習
臨床実習	毎週月曜日午後、木曜日午後、金曜日午前の顎関節症診療時に行う
症例検討会	毎月第一木曜日 歯学部図書室において開催する
講義日程	<p>第1回 顎口腔系諸器官の健全な形態と機能1 (西川悟郎先生)</p> <p>第2回 顎口腔系諸器官の健全な形態と機能2 (丸尾幸憲先生)</p> <p>第3回 顎関節症の疫学と病因 (皆木省吾教授)</p> <p>第4回 顎関節症の診断 (沖 和弘先生)</p> <p>第5回 顎関節症の分類ならびに鑑別 (原 哲也先生)</p> <p>第6回 顎関節症に対する治療計画ならびに治療法1 (皆木省吾教授)</p> <p>第7回 顎関節症に対する治療計画ならびに治療法2 (兒玉直紀先生)</p> <p>第8回 顎関節症に対する治療計画ならびに治療法3 (岡 森彦先生)</p> <p>第9回 顎関節症における咬合再構成上の留意点 (皆木省吾教授)</p>
本年度参加が望ましい学会等	<p>日本顎関節学会</p> <p>日本顎口腔機能学会</p> <p>日本口腔顔面痛学会</p>